

# 消防団だより

第 11 号  
発行  
富士市消防団

富士市永田町1丁目100番地  
電話 (0545) 51-0123  
内線 (3333)  
FAX (0545) 53-4633

## “自分たちの街は自分たちで守る”



富士市消防出初式 市役所北側駐車場にて

一月七日、八時三十分から富士市役所駐車場及び市役所南側青葉通りにおいて「富士市消防出初式」が衆議院議員、県議会議員、市議会議員等多数のご来賓を招き、消防職団員をはじめ静岡県消防協会表彰等の受賞者など消防関係者一、〇五九人が参列し盛大に挙行されました。

平成十三年富士市消防出初式挙行  
一月七日  
富士市役所北側駐車場

式典は、消防団ラッパ隊の吹奏する中、観閲者の入場に始まり消防次長の開式宣言、国旗掲揚、国歌斉唱が行われた後、式次第により進められました。  
式典の中で平成十二年四月に消防団長に就任いたしました、羽切 透消防団長の訓示がありました。

### 消防団長挨拶

富士市消防団 団長

羽切 透



消防団長 羽切 透

心新たに節目の二十一世紀の新春を迎える年頭にあたり、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

団員の皆様方には、常日頃より消防行政に格別なる御尽力を戴き、市民の生命、身体及び財産保護の為、昼夜を問わず献身的にご努力戴きまして深く感謝と御礼を申し上げます。

「災害は、時と場所を選ばず」と言うことで、昨年度は、北海道の有珠山、また近隣では伊豆諸島の三宅島近海の噴火に依る有毒ガスの発生で住民全員が長期に渡り、離島を余儀なくさせられ、最悪の事態に陥つ



消防出初式 消防団長の訓示

た訳であります。

名古屋地域では、台風が秋雨前線を刺激し、集中豪雨による水害が大きな経済的な損害を与えた事は、いまだ記憶に新しい所であります。

「災害は、忘れた頃にやってくる」という言葉通り、自然の猛威を思い知らされた訳でありまして、これらの災害に際し消防団の活動は目覚ましいものがあり、市民の消防団に対する期待は益々大きく、その使命は重大であります。

当市におきましては、年初には火災件数が非常に多くて心配されましたが、幸いにも皆様の常日頃の予防消防の努力の成果によりまして、下半期には火災件数も大分少なく落ちついた次第であります。

本年度末には、県下に誇る近代



放水

な設備を備えた防災拠点として、免震構造の新消防庁舎も完成の運びとなる訳ですが、我々消防団と致しましては、新しい設備の消防通信指令に対応出来るように、それ相応迅速な消防活動組織を初動体制に備え、連絡体制の強化や、車両装備の点検整備及び、教育訓練や不可欠である若手団員の確保を行い、防災体制の一層の充実強化を図り、東海地震に備え尊い命を守る努力をしようではありませんか。

団員各位の御健勝と御活躍を祈念し挨拶と致します。





# 新入団員教育

第十分団 団員

鈴木雅文

私は、富士市消防団に入団して二年に成りますが、昨年度の新入団員教育は仕事のために出席出来ず、今年が私にとつての新入団員教育になります。方面隊長並びに分団長に、今回は必ず受講するようにと、一カ月前という早い時期に連絡を頂いたお陰で参加する事が出来たと思いません。なかなか寝ることが出来ずに受講日の朝を向かえ、作業服に着替えていると長女が、「お父さん、今日は消防なの？」と笑顔で話し掛けてくれたことで、前夜からの不安と緊張がとれ、私も娘に「消防の勉強をして来るからね。」と笑顔で答えてから家を出ました。会場では、各方面隊長や各分団の新人たちが、緊張した顔つきで受講の準備をしていました。受講時間になると消防本部の担当者が、日程の説明を始め、いよいよ緊張の新人教育が始まりました。消防団長の挨拶と訓示が始まると、



「終了証」 代表 鈴木雅文

先程までとは何か違う緊迫した雰囲気。会場全体がなった気がしました。私は、消防団員の職務と職責の重要性を感じ身が引き締まりました。次に、副団長と管理課長の、消防団の歴史と概要・消防団員の服務規律などの講義を受けた事により、ようやく団員の一員になれた気がしてきました。講義も終わり、訓練札式指導員による規律訓練が始まりました。最初のうち新人団員は、照れ臭そうに訓練を繰り返していましたが、指導員の指示が徐々に厳しくなるに従って、新人団員の一挙手一投足も厳しさをまし、全体の規律行動にも調和がとれてきました。規律訓練は、学生時代の厳しい練習を思い出し、心地よい汗を流すことが出来ました。一番の勉強になった事は、消防団及び消防団員は、常に節度をもった態度で行動することが一番大切である、という言葉と、訓練式例の規律行動の機敏さに消防団の厳しさを、体感し得た事だと思えます。午後から行われた小型ポンプ・ポンプ車指導員の気迫のこもったポンプ操作は、今後の消防活動に役立つ模範演技でした。実際の火災現場でも、規律訓練・ポンプ操作の基本と団体行動を重視する事が、素早い消火活動に結びつくのだと知りました。大変良い勉強になりました。

私にとって、最後にもう一つの思い出が出来ました。今回参加した新入団員六十二名を代表して消防団長より終了証を頂く榮譽を得たことです。今後は、私達を教育指導してくれた指導者の先輩方を目指して、常に節度をもった消防団員として、地域のために貢献していきたいと思えます。

# 新入団員教育

第七分団 団員

森竹信幸

五月二十一日、富士市公設市場にて新入団員教育を受講しました。開講式が始まり、消防団長をはじめ、役員の方々の紹介及び訓示を受けました。その時感じた事が、さすが富士市民の安全と命を守っている方々だけに、強い意志の様なものを感じました。自然と自分の気持ちを引き締め、私も消防団員として地元の安全を守るんだ、という自覚が生まれました。挨拶の後、責任と心構えの講習を受け、指導者から消防団の歴史や消防の仕組み、また消防団員

# ラッパ隊に入隊して

第三分団 班長 毛利和敏

私は、消防団に入団して十三年目になります。今年班長になり、初めての役員会議で先輩から、ラッパ隊をやってみないかと言われ「はい!! ト不安だった。ラッパを吹いたこともしなければ触った事もないのです。我が三分団からは今まで、ラッパ隊を一人も出していません。ラッパ隊の羽の矢が立ったようです。ラッパ隊長の河合さんから電話があり、毎週木曜日七時半から、本部の三階の会議室で練習があると聞いて出掛けました。三分団の毛利ですと自己紹介して練習が始まりました。いざラッパを手にして吹くと音が出ない、廊下に出て先輩に個人指導してもらい初めはスースーとしか音が出なかつ

の権限や処遇などを教わりました。教室での講習が終わり、屋外にて、訓練札式の指導が始まりました。実は、この教育を受けるにあたり前日、分団の先輩から訓練札式の指導をして頂きました。その時教わった事を思い出しながら訓練をしていたので、やはり訓練が足りないのではなか、先に頭で理解しようとする為か、時々体の反応が一テンポ遅れてしまいます。指導者の方が「最初の訓練札式だから。」と言われました。これからもっと訓練を重ね、早く指導員の様になりたいと思います。昼食の時、ポンプ車操作法の演習を見ました。指導員の機敏で確実な行動には感動をもしました。やはり実際の

たけれど一瞬音が出た時は嬉しかったです。初めてのイベントは、富士まつりで市役所前の通りを行進しました。まだ曲が吹けなく、ただラッパを上げ下げしていただけだったけれども、周りの人達に拍手声援してもらい感動しました。でも、吹いていない自分が悔しく思いました。みんなに追いつくように、毎週水曜日二十五分団の詰所で久保田先輩に指導してもらい練習しています。今では少し音が出るようになりました。ラッパ隊に入って、分団と違う仲間が出来て良かったと思います。班長になりラッパ隊になり、なにもかも初めての事ばかりですが、初心にかえって頑張りたいと思います。



ラッパ隊分列行進 青葉通りにて

火事の時に、機敏で確実な行動が必要な為、この様な訓練があるのだと思えました。全ての講習や訓練が終わり、消防団長より修了証書を頂き解散しました。第七分団の詰所に戻ると、分団長、副分団長そして役員の方まで、私達新人団員を待っていてくれました。その時の話で、消防団員に必要な心構えは団結力だ、まず新入団員同志の団結を深めなさいと言われ、私達四名の新人団員は、その場で団結心を確かめました。この一日を振り返り、消防団員としての強い意志と自覚、機敏で正確な行動、そして団結力、何より、この気持ちを絶対に忘れない事と思えました。これからは、更に気持ちを引き締めて、先輩の指導を受け、早く地元や分団の役に立てる様、努力したいと思えます。



# 分団紹介

第二十分団 分団長

佐野 勝 英

第二十分団は富士市の西北に位置してあります。管轄は、岩松北小学校区の四ツ家区(十九分団所属)を除いた岩松地区十町内で、世帯数は約千九百六十戸です。

団員数は三十三名と定数を満たしてはおりませんが、年齢層が高く、もう少し若手の入団を希望したいところです。しかし実現はなかなか厳しいのです。

活動面では、毎月一日と十五日を定例会と決め、機械器具の点検・詰所内の掃除、また自然水利を利用した消防車と小型ポンプでの放水訓練と双方の中継放水など行なっております。分団区域内には神社仏閣があり、重要文化財等を保有している所もありますので、火災発生を想定した消火訓練を独自に実施しております。それから、地域に溶け込んだ消防団活動も大切だと思いい、地元のお祭りにも参加しています。毎年九月に開催されている地区市民体育祭には、会場の放水も兼ねて放水訓練を行なっております。今年、風船割り競争とメデシングボールの二種目にオープン参加し、団結の有るところを地域住民にアピールすることが出来ました。また、岩松北小学校から依頼があり、毎年四年生全員を対象に「安全な、くらし」の一環として、分団詰所の見学をクラス別に行っています。二十分団の組織構成など色々説明する中で、一年間の火災件数とその原因など説明し、特に子供

達の火遊びが原因で火災が多く発生していることを伝え、火遊びは絶対にしないことや、花火を行う時は十分注意するなど、防火意識に芽生えてもらえるよう、この機会を利用して啓蒙しています。

消防団の行事の中で、何と云っても大変感動したことは、去年行われたソフトボール大会で、我が分団が初優勝したことであります。過去二回ほど三位になった事はありませんが、念願の初優勝に、私も一選手として参加していたこともあって、本当に光栄に思います。

これからも二十分団の伝統を汚すことなく、地域住民に信頼され、住民の生命財産を守るため、消防団活動に一層精励していききたいと思っております。

## 新分団長抱負

第二十五分団 分団長

秋山 富 弘

当分団は、創立十八年を過ぎたばかりの若い分団です。受け持ちは、広見小学校区と青葉台小学校区の一部で、二十五町内が担当区域となります。団員は二十名居り、自営業者とサラリーマンの比率は、約半々の構成です。少所帯の分団ですので、我と思わん方は、ぜひ入団をお待ちしております。毎月第二金曜日の全体会議に始まり、訓練大会・春秋の防火週間・冬の二ヵ月間にわたる夜警等があります。大変ですが、過ぎてみれば責任を果たしたという充実感に満たされます。私は以前、第一方面隊の規律訓練



横浜 中華街 聘珍楼にて

## 新分団長抱負

第二十四分団 分団長

渡辺 清 仁

私は、分団長に任命され、分団の責任者として身の引き締まる思いです。歴代の分団長が築き上げた功績に恥じないよう、より一層努力し、団員に尊敬される分団長として、精進していきたいと思っております。

私は、昭和五十四年四月に入団し、勤続二十一年目になります。入団当時は、分団内の上下関係が厳しく、辛かったことを思い出します。一日、十五日の定例会では、新入団員は、誰よりも早く詰所へ行き、シャツターを開け、ポンプ車のエンジンを掛け、掃除し、水を撒き、湯を沸かし、お茶の準備・OK・後は先輩を待つ。これが、新入団員のノルマでした。(時々忘れてました)今思うと、辛かった新入団員の頃が懐かしく思えます。分団長として団員に、自分の経験した事をやれとはなかなか言えませんが、団員一人一人が、自分のすべき事を自覚しているので安心して、消防団活動に対して、自



24分団員 宿前にて

主的に活動する団員に感謝すると共に、前分団長から引き継いだチームワークのとれた分団を、今後も継続していきたいと思っております。次に、分団紹介をします。二十四分団は、団員数二十一一名。受持ち区域は、天間地区です。天間地区は、富士市の西方に位置し、富士宮市との市境です。詰所は、国道一三九号線の近くの、天間公民館に隣接しています。活動として、町内会の自主防災訓練・地元企業の自衛消防隊との合同防災訓練へ参加するなど、地域へ密着した活動を展開し、予防消防に努めています。今後も、地域社会へより一層貢献していきたいと思っております。



# 火災多発期 特別警備について

第六分団 班長

藤田 将志

十二月二十日から始まった火災多発期特別警備は、二月二十日まで実施されます。六分団では三〜四名を一班として十二班に分かれ、この二カ月間の警備に当たることになりました。

私は昭和六十一年に入団以来今まで十三回の特別警備を経験しましたが、本年度からは班長という立場で、昨年度までは班員としての警備という認識とは少し異なった、チョット緊張する警備となりました。六分団では、この期間を迎えるに当たり、再確認の意味も含めてポンプ車の放水訓練を行い、いざ火災発生時に備えて、この特別警備に臨んでいます。

私の家族も、この特別警備について、こんな感想を持っている様です。「また今年も夜警の季節がやって来ました。会社員の主人は仕事を終えて夕食も早々に消防着に着替え、防寒着を持って詰所に出かけて行きます。そうしている内に消防車が家のそばを通り過ぎて行きます。」

「今回も、ご苦労さま。」  
と思いつつながら、子供達と、お父さんの乗っている車が行ったね、等と話をします。乾燥した日が続くこと火事が起こりやすくなります。毎日のようにテレビ等で火災による事故が報道されています。一瞬のうちに何もかも無くなってしまふ火事。

「戸締まり用心、火の用心」  
夜の見回りは、決して楽な事ではありませんが、お父さん寒いけど頑張つ

てと思わずにはいられない私達です。(妻より)  
正直なところ、特別警備つまり夜警は少し負担に思う事もあります。家族からこんな感想を聞くと、やはり地域の安全のためにも、これから二十一世紀に向けてもつとつと頑張らなくてはと、改めて感じさせられる今回の火災多発期特別警備となりました。



車庫前にて 「点検報告」

## 火災期待別警備

第十九分団 団員

山崎 一成

新入団員の私は、今年初めて火災期待特別警備(夜警)を経験しました。十二月二十日から二月二十日までの二カ月間、各部落交代制の週一回の活動でした。まず詰所に七時半に集合し、ポンプ車での地元地区の巡視

から始まります。初体験の私は、先輩から広報の任務を与えられ、助手席に乗り、かなり緊張していました。スピーカーのスイッチを片手に、カーン・カーン。「こちらは、第十九分団です。冬は、火災の多い季節です。火の元には、十分注意して下さい。」慣れない任務に、最初は戸惑う自分でしたが、回を重ねるうちに、巡視経路・手順など、少しずつではあります。自分が把握していき、夜警という活動に、自分も微力ながら地元住民の人達の為になつていっていると思ひ、やりがいも感じ始めました。巡視から詰所に戻ると、早朝までの待機です。午後九時頃には、分団長・副分団長が見回りにこれ、諸先輩方と一緒に、まだ未熟な私に消防団の意義・活動内容など、より詳細に話をしてくれ、とても参考になりました。

火災が多発する冬の時期、自分達のこの夜警活動が、地元住民の防火の役に立っていると思うと、来年の夜警活動も言うまでもなく、普段の消防団活動も、一生懸命・精一杯頑張っていきたいと思ひます。

## 分団と地域交流

第二十六分団 団員

高橋 英則

消防団が地域の住民により成りたつていくことから、いろいろな地域のイベントに参加する機会があります。我が富士南地区でも、ききょうの里の文化祭・夏祭り・体育祭そして三世代交流福祉大会等、一年を通して参加しています。

参加は主に出店という形で、たこ焼き・わた菓子・おでん等をやっています。とても好評であり、いつも長蛇の列ができるほどです。顔なじみの方も地域にとけ込んでいることを実感しています。

又、団活動としても、防災訓練・住宅査察・春秋の火災予防運動・年末年始にかけての夜警等地域との接点があり、消防団の存在を十分アピールしていることは事実です。  
しかし、存在は知っていても、どのような人が、どのような形で参加し、活動しているかはあまり関心を

抱いていないようです。このことは、団員確保においては、顕著に現れています。それは、地域の役員の方々に団員の確保、紹介をお願いしているにもかかわらず、いっこうに良い返事がなく、結果として、我が26分団は、定員割れの23名で活動しています。  
今後地域の方々に、  
「おら達の分団。おら達でやる。」  
という気持ちを持つてもらえる様に動いていかなければと思ひます。

例えば、各種イベントにおいて、  
①簡単な救急講習の実施  
②小型ポンプ操作の訓練実施  
③防災知識をクイズ方式によって高める  
④消防に対するアンケートをとる  
まだまだ工夫をこらして、分団の現状、抱えている問題点、活動内容に対する意見。といった具合で、多くの方々に接し、興味を持ってもらえる様に、そして、若い人達が、「皆で消防団を支えよう。」  
という気持ちになり、入団してもらえよう、活動していききたいと思ひています。

## 防災訓練を終えて

第九分団 団員

清水 博喜

九月一日、早朝から降り止まない雨の中で、今年須津小学校グラウンドにおいて、防災訓練が行なわれました。あいにくの天気で、小中学生

参加による訓練は中止となり残念でしたが、須津地区各町内から、大変多数の方々に参加して頂きました。

いつも近所で見かける陽気な親父さんや、居酒屋で相席した事のある年配の方々が、いつもと違う真剣なまなざしで、大きな声を掛け合い小型ポンプを操作している姿を見ていて、心強く思いました。しかし、それと同時に、自分が有事の際にどれだけの事が出来るのだろうかを考えると、ちょっと恥ずかしくなりました。

消防団に入団して、約一年半。その間、消防団ラッパ隊にも入隊し、ラッパの音は多少出るようになりましたが、小型ポンプの使い方は、ま

だ自信がありません。すぐに何でも、という訳にはいかないのですが、これから毎月の訓練の中で、少しずつでも習得して、近い将来には、率先して出来るようにならなくては、いけない立場なんだ、と思ひ知らされました。

又、自分を含めた、特に若い世代が他人任せにならず、火災が起きた時の事を考えていかないと、地域の防災というのは成り立っていかないと。と実感した総合防災訓練でした。



# 消防まつりに参加して

第十二分団 団員  
秋山 正幸

「消防まつり」と言う消防出初め式と並んで一般の人達に消防の重大さや、消防団員の防火に対する強い意志を理解してもらい、防火意識を高めてもらう行事だと思います。

日々の訓練や活動状況を公開して団員の普段の苦勞をねぎらってもらう事が出来れば、それまでの苦勞も何処かへ行ってしまうと言うものです。しかし、この分団でも模擬店のほうばかりに力を入れすぎている

# 消防まつり

第十五分団 部長  
堀水 義之

今年も暖かでおだやかな秋の日に消防まつりが、賑やかに、かつ盛大に行われました。

今年で十四回目となった消防まつりも、市民の人々に浸透してきた様に思います。大勢の人々が楽しみにやってきました。前日の日から消防団の人達と同じ様に、天気を気にしながら待ちわびているのです。このテントの前にも、かなり多くの人達の長い列ができ、どの分団とも、それぞれの特色を出し合っていてよかったです。売る人と買求める人との間で会話ははずみ、なごやかな雰囲気、とても楽しそうでしたし、事実、売り手としても楽しかったです。どの分団も、一時過ぎ

と思います。また出初め式のように事前のPRを行えば、もっと多くの知り合いが来場してくれ知名度も上がるのではないのでしょうか。そして駐車場の問題もあります。駐車場係をやりましたけれど、駐車場が少ない事です。駐車場をもっと確保しないと、周辺に不法駐車され苦情だらけで、イベント存続にも関わってくると思っています。

模擬店で用意したものを売り切った時、親子連れの楽しそうな表情を見ると、ほっとした気持ちになります。消防と市民との数少ない触れ合いの場なので、これからも、さらに盛り上がるイベントとして、地域に定着するようにしていきたいです。



「消防まつり」恒例投げもち

た頃から品物が売り切れてしまい、残念がる人もいたほどです。又、OBの先輩の方々も、分団のテントの中に顔を出して声を掛けて下さり、いつまでも後輩達の事を気遣ってくださるのだと、実感として感じました。一年に一回のおまつりではありますが、全分団が一つになって盛り上げていく事の大切さを痛感しました。これからも十五・十六回と回を重ね、各分団のカラーを出し合っ、市民の皆さんの為にも、楽しいものになりたいと思います。

# 僕たちの消防まつり

第十八分団 団員  
望月 照泰

今年も、いよいよ消防まつりの日が訪れました。

僕たちの十八分団といえば黒はんぺんに、フライドポテトが定番です。「去年も美味しかったから今年も来たよ。」と常連のお客さんが来てくれました。十一時を過ぎると店は大盛況となり、十二時過ぎる頃には、完売となっていました。

僕たち消防団の活動の中で、歯を見せながら一日中過ごせる活動は数えるほどです。よく周りに、「なんで、消防なんてやっているの?」と問われます。自分が消防団に入団する時にも抵抗はありました。その理

# ご苦労様そしてがんばって

第二十三分団 部長  
西村 力

約十九年間、火災現場などで鷹岡地区久沢方面の防火に活躍してきたポンプ車を更新する事になり、いつ来るかと心待ちにしていました。

十二月二十日、新消防ポンプ車の引き渡し式が行われました。式では鈴木市長の「一層の期待と予消防防に力を入れて下さい。」との言葉と、市議会の菊池副議長の「十分に活用してください。」との言葉、さらに消防団長の激励の言葉を聞き、私達団員一同、これからも精力的に訓練に励み、防火防災に一層努めて行こうと改めて思いました。

由は周りからのイメージが非常に悪かったからです。でも実際に入団し活動してみると、そのイメージとは全然違い、すごく大変ですがやりがいがあります。今度周りに聞かれたら、僕はこう答えます。

「誰かがやらなくちゃいけないからじぶんがやっているんだ。」と...

自分が消防団員であることを誇りに思い、これからも消防活動を続けて行きたいと思えます。そして、来年も消防まつりを満喫したいと思えます。



消防ポンプ車納車式 第23分団

式が終わって、車両とポンプの説明を受け、素晴らしい機能に驚きました。この新車両を導入して下さいました富士市に感謝いたします。最後に第十分団に配置される旧ポンプ車、十九年間ご苦労様でした。そしてこれからも活躍して下さい。



# 雑学

## 博覧クイーン

Q 高規格救急車って聞きますが?

A 「それは救急救命士が医師の指示に従って行う「器具による気道確保」「輸液」「除細動」の高度な救急処置が出来る医療器材を積んだ室内スペースの広い救急車です。」

Q 携帯電話から一一九番するところにつながらるのですか?

A 「それは携帯電話の機種によって異なります。あなたの携帯電話が「AU」もしくは「ツウカーセラー東海」でしたら富士市消防本部に直接つながります。もし「ドコモ」か「ジェイホン」をお使いの際は沼津市消防本部へつながります。その場合、相手に場所をはっきり伝え、富士市消防本部に転送してもらってください。」





### 家族慰安旅行に 参加して

第二分団 団員  
熱川 康徳

今日の旅行は、普段は我々消防活動の縁の下の力持ち的存在の家族に、「感謝の意をこめて」と富士市消防団が企画して下さった旅行です。子供達も、家族みんなでお出かけられるバス旅行とあって、とても嬉しそうです。普段遊びに行くのは自家用車です。みんなで一緒に行くバス旅行は、また格別なのでしょう。時代なのでしょうが、昔と比べて団体で行動する事が少なくなっている中で、消防団活動を通じてこの様な行事に参加できることが、貴重な体験となっていくのでしょうか。という様な事が頭の中を横切りますが、バスの中の子供たちは、他の家族のお兄ちゃん・お姉ちゃん達と、カラオケゲームをしてとても楽しそうです。こういう心から楽しめ、年令などという枠の無い仲間の集まりの中の、人と人との触れ合いが、人間関係を育てて行くのだと確信したのです。妻や子供達には、消防団活動を通じて、「人間ていいな」「仲間っていいな」と、感じてもらえるきっかけになる旅行になってくれれば、いいなと思いました。

子供達がこの様な気持ちを持って自分の父親が消防団活動を続けているという事を、理解してもらえれば、又いつか自分も「消防団に入りたくな」と言ってくれる事を、心待ちにしています。最後にこの旅行を企画して下さいました富士市消防団に感謝します。



家族慰安旅行にて 第2分団

### 思い出いっぱい 七月十六日

第五分団 家族  
渡辺 このみ

「ハアアア」という一息で始まった七月十六日、日曜日。お父さんが富士市消防団に入ってから二回目の旅行。方面隊の家族旅行の日です。朝起きたのが六時だったので私はまだねぼけていて、起きてからも、「ねむい、ねむい。」と、何度か言っていたそうです。けれども、御飯を食べて歯と顔を洗って集合場所に向かう時には、「わくわくしてきて」三年生の妹と幼稚園年少の弟とみんなど、バスの止まっている所まで走って行きました。

バスに乗って場所とりをしました。何分かすると、同じ年の友達が来ていっしょにすわりました。そして、みんなも集まり、目的地のデイズニールランドに向かって、「出発！」

三時間ぐらいたって…  
「到着！」と、  
ガイドさんの声がしました。私は前から同じ年の友達と、東京デイズニールランドで二人だけで行動

### 消防団一口メモ

- ◎消防団家族慰安旅行て？  
4年に1度方面隊ごと家族といっしょに慰安旅行が計画されています。
- みんなはどこに～
- |       |              |       |
|-------|--------------|-------|
| 第1方面隊 | 東京お台場        | 8月20日 |
| 第2方面隊 | 東京デイズニールランド  | 7月16日 |
| 第3方面隊 | 富士急ハイランド     | 8月20日 |
| 第4方面隊 | 横浜中華街・ズーラシア  | 7月16日 |
| 第5方面隊 | サイクルスポーツセンター | 7月16日 |
| 第6方面隊 | サイクルスポーツセンター | 6月11日 |

しようと約束していました。けれども、お父さん、お母さんに聞いたところ、「まだ待ってて」と言われてしまいました。二つ乗り物に乗ってからやっと、お父さん、お母さんにおゆるしをもらいました。いよいよ友達と二人での行動です。二人で、離れないように気をつけながらまわりました。始めに買物をして、カヌーやカリブの海づくりに五回ぐらい乗り続けました。友達と二人でドキドキしたけれど楽しかったです。

新しくできたショッピングセンターに行くという、お母さんからの電話がありました。お母さんたちと待ち合わせをしてからショッピングセンターに行きました。でも、そこは子どもが見るところがなくて、すぐにできてしまいました。チョット残念だったです。

さい後に、友達におみやげを買ってバスに乗りました。

最高の思い出のできた楽しい一日でした。またこういう機会があれば行きたいと思います。

### 家族慰安会

第十一分団 団員  
石川 和彦

消防団の活動に従事する者にとつて、家族の理解と協力が無くしてはできないと頭では思っているが、改めて感謝の言葉を掛けたり、その為に家族で一緒に一日過ごす事などなかなか出来ないものです。

八月二十日、第三方面隊の家族慰安会に参加して、富士急ハイランドで一日家族と一緒に楽しむ事が出来ました。限られた時間の中ではありましたが、いくつかの遊具やアトラクションで楽しみ、久しぶりに子供と一日過ごす事ができ、子供も夏休みの楽しい一日として思い出に残った事だと思えます。企画から実施に至るまでお世話頂きました幹部の方々にお礼を申し上げます。

先日、古いアルバムを整理していた時、四十年前の写真が目に入りました。私がまだ母の背におんぶされている頃のものであり、同じく消防団の家族旅行のものでした。今は亡き父も十一分団に所属していましたので、家族で参加したものと聞きまして、当時から消防団活動に従事する者は、常に団員の親睦はもろろんのこと、家族への感謝と家族ぐるみでのお付き合いを、大切にしていたのだと感じさせられました。

大先輩のやってきた事が受け継がれ、現在十一分団では、毎年春にはバス旅行に出掛け、年末には家族で忘年会を楽しんでいます。先輩に子供の成長ぶりを見てもらったり、若い団員に子供が遊んでもらったり、新

しい家族が増えて付き合いが広がったり、世代を越えた消防団ならではの家族ぐるみの付き合いなのかもしれません。

常日頃こうした関係が、いざという時、家族の応援があり、団員がお互いに力を合わせる大きな力となる目的が達成できるのだと思います。消防団活動を先輩から受け継ぎ、さらに将来、後輩にも受け継いでもらいたいと思います。



キャラクターといっしょに…。  
喜ぶ子供と怖がるお母さん





### 楽しかった 消防の旅

第十四分団 家族  
大島 美里

わたしは、七月十六日に消防の旅で、横浜にある、ズーラシアという動物園と、中華街に行きました。ズーラシアも中華街もはじめてだったのでドキドキしていました。バスに乗った時は、ますますドキドキしていました。バスが出発しました。バスガイドさんが、ズーラシアの事や、中華街の事をいっぱい話してくれましたので、よく分かりました。その後、ビンゴもやりました。でも、わたしの番号は、ぜんぜんこなかったけれど、後からどんどん自分の番号がきたのでリーチになりました。けど、さきに、ビンゴはとられていました。だから、わたしはくやしーノと思いました。それからというものは、どんどんバスは進んで、ついには、ズーラシアについていました。わたしは、オカピーの話し聞いたので早くオカピーを見たくまりました。オカピーのいる所は、わたしたちのいる所よりも遠いので、急いでいきました。みると、すごくかわいかったです。でも、今日は、すぐくあつかったので、動物たちも、ぐったりしていました。ズーラシアはかわっていましたが、ペンギンやホッキョクグマもいるからです。だけど、いい思い出になりました。そして、次に中華街にいきました。さっそく、昼ごはんを食べました。おいしかったです。歩いていると、チャイナドレスが売っていたので、ほしいなと思いました。

いろいろと中華街にはあったので、いい所だなと思いました。いままでの長い時間も終わってしまいました。みんな、バスに乗って帰りました。とても楽しかったです。またいきたいです。



横浜  
ズーラシアにて  
第14分団

### 家族慰安会

第二十二分団 団員  
坂本 光 俊

「うわんどしゃぶり!!」と、友達に思わずメールを送った。

今日は三年に一回の方面隊家族慰安の日なのです。毎年、消防団活動の協力への感謝を込めて、分団単位で家族慰安会を開いているのですが、今年も、方面隊家族慰安会として、サイクル・スポーツセンターへのバス旅行を実施する事になりました。ですが、当日は、あいにくの雨で、冒頭のメールに繋がるわけです。

第六方面隊のバスが、全車サイクル・スポーツセンターに着いた所で、全員下車して、早坂方面隊長の挨拶を受けた後、順次入場しました。天

気が悪いせいか中はガラガラ、動いている乗り物は、殆ど在りません。でも、見方を変えれば、貸し切り状態。体育館で卓球・バスケットをやったりプールで泳いだり、メリーゴーランドに乗ったり、中には雨にもかかわらず自転車に乗る人もいます。皆それぞれ楽しんでる模様です。お昼は食堂に全員集まってるのバーベキューです。メニューは普通のお肉とシーフードで、意外にシーフードが人気がありました。結構話も弾んで、子供達は連れだつて飛んであるいたりして。まるでバーベキューが、本日のメインイベントという感じですが、少し休憩した後、早くも集合時間が来てしまいました。

雨がふりしきる中、家路につきます。天候が悪かったせいも、少々物足りない面もありましたが、後日テレビで、たまたまサイクル・スポー

### 家族慰安会

第十七分団 部長

永戸 俊光

今年度は、五年ぶりの家族慰安会という事で、我が分団では、総勢四十七名の参加がありました。行き先は、修善寺サイクル・スポーツセンターです。前日から心配された天気

ないかと思えます。帰る途中、土産などを買い、事故もなく、無事帰ることが出来ました。

も、当日は、晴天に輪をかけた真夏日で、定刻どおり現地に到着しました。早々我が分団では、バーベキューの準備に取り掛かり、各自好きな物を焼いて食べ、盛大に執り行いました。バーベキューのあと、子供達は、準備してきた水着に着替え、プールでひとときを楽しく過ごしたのでは

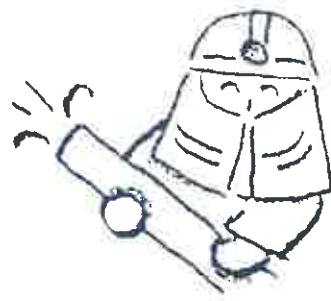
こんなにも、分団の家族が一同に集まる機会も少なく、楽しんでもらえるのであれば、三年に一度行なうのではなく、予算が許す限り、三年が二年にしてもいいのではないかと思えました。そこから、家族の輪が広がり、消防団の活性化につながるのではないかと感じました。

### 消防団一口メモ

◎方面隊てなあに？

よく「第〇方面隊」といいますが富士市は、26個の消防団を6方面に分けています。

- 第1方面隊 第1、2、3、25分団
- 第2方面隊 第4、5、6、7、12分団
- 第3方面隊 第8、9、10、11分団
- 第4方面隊 第13、14、15、19、20分団
- 第5方面隊 第16、17、18、26分団
- 第6方面隊 第21、22、23、24分団



ツセンターの特集がやっていった時、「これやったノあれやった!!」とはしゃぐ甥っ子を見ると、十分楽しめた様です。最後に企画担当の皆さんお疲れ様でした。次は、晴れますように!!



### 消防団分団の配置図



## 知っていますか?

### =あなたの町の消防団=

\*富士市消防団はいくつの分団があるのですか?

A. 富士市内には26個分団があります。

←左の分団配置図を見て下さい。

\*消防団のしくみを教えてください。

A. 消防団員は、様々な職業を持った人たち、1個分団は、分団長、副分団長、部長、班長、団員とい階級で編成されています。

各分団をまとめる人 …………… 分団長

各方面隊をまとめる人 …………… 方面隊長

(※消防団一ロメモより)

富士市消防団をまとめる人 …… 消防団長

今度、消防団がどこにあるか歩いてみてはどうでしょうか

## 消防団員募集

富士市消防団では消防団員を  
随時募集しています  
市内在住の十八歳以上で熱意のある  
健康な人なら入団できます

入団方法

地域の消防団員または地域の町内会  
(区)長へ申込ください。

集まれ!



消防団員

問い合わせ 消防本部管理課 TEL. 51-0123

消防団係 内線 3333

## 13年度消防団の主要行事予定

月	日	行 事
4月	2日(月)	辞令交付式
5月	下旬日(日)	新入団員教育・庶務講習
5月	20日(日)	富士市消防団訓練大会
6月	中旬日	幹部研修
6月	下旬日	機関員研修
7月	月上旬日	富士支部査閲大会(芝川町)
8月	月上旬日	特別健康診断
8月	18日	静岡県消防団員消防操法及び訓練礼式査閲大会
9月	1日(土)	総合防災訓練
10月	14日(日)	団員ソフトボール大会
11月	10日(土)	静岡県消防大会(磐田市)
11月	11日(日)	消防まつり
11月	9日~15日	秋季火災予防運動
12月	20日~	火災期特別警備(平成14年2月20日まで)
平成14年	1月13日(日)	消防出初式
平成14年	2月上旬日	家族協力推進懇談会
平成14年	3月1日	春季火災予防運動
	~3月7日	

## 編集後記

皆様から多数の原稿を頂き全て消防団だよりに掲載できました。広報委員一同心よりお礼申し上げます。消防団だよりが市民と消防団員を結ぶ掛け橋になればと期待します。

今回は地域のみならず、又消防団員にアピールを兼ねて年内行事及び、市内の消防団位置図を載せさせていただきますました。「より身近に」「よりわかりやすく」をモットーに今後も方面隊の代表としてより消防団の活動を掲載できますよう努力してまいります。今後もご協力をお願い申し上げます。

### 富士市消防団広報誌編集委員

- 委員長 杉山 茂樹
- 副委員長 第二方面隊長 長尾 文彦
- 委員 第一方面隊長 久保田道雄
- 委員 第二十五分団班長 本多 正憲
- 委員 第三方面隊長 千葉 和夫
- 委員 第八分団班長 船山 明宏
- 委員 第四方面隊長 長谷川文利
- 委員 第十三分団班長
- 委員 第五方面隊長
- 委員 第十七分団部長
- 委員 第六方面隊長
- 委員 第二十三分団班長